

令和2年度 事業計画書

社会福祉法人 青い鳥

日本平学園

日本平ホーム

日本平ホーム短期入所

社会福祉法人 青い鳥

法人理念

共に悩み、共に感動し、共に認め合える法人を目指します。

基本方針

障がいの有無にかかわらず個人の尊厳が保たれ、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう地域支援を推し進める。利用者本人とその家族の思いや願いに寄り添い、一人ひとりに合った支援を行う。

重点目標

- (1) 新しい時代にあった法人経営を展開
 - ① 公益性の高い社会福祉法人として組織の再編成を行う
 - ② 事業運営の透明性を推進する
 - ③ 地域貢献、情報発信、地域連携を進める
 - ④ 障害者虐待防止法、障害者差別解消法などの法律を厳守する

- (2) 人材の確保、育成
 - ① 人材の確保、育成を進める
 - ② ホームページリニューアル
 - ③ 働きがいがあり、働き続けられる職場づくりに努める
 - ④ 多様な人材を適材適所に配置する

令和2年度 法人事業計画

- (1) 第2グループホーム事業
 - ① 保護者からの要望によりグループホーム設立の準備をする
 - ② 建築に向けての準備をする
 - ③ 行政等への補助金申請を遂行する

(2) 地域貢献事業の推進、実施

- ① 当法人の社会資源を地域社会へ還元する
- ② 地域住民のニーズに即した活動をする
- ③ 地区社協、地域会議等へ積極的に参加する

(3) 福祉人材の確保の推進

- ① 社会福祉事業に関連するサービス従事者を雇用する
- ② 業務に関連のある資格取得を推奨する

(4) 活動内容

- ① 利用者、保護者のニーズに応えた新しいサービスの提供を行う
- ② 利用者が、地域住民とふれあう機会を増やす
- ③ 外部研修会等を利用し、職員の資質向上に努める

(5) 理事会・評議員会の開催

- 年2回（6月、3月）理事会・評議員会を開催する
※必要に応じ、臨時理事会・臨時評議員会を開催する

生活介護・就労継続支援B型事業 日本平学園

運営方針

- (1) 利用者個々の実態に合わせた支援により、社会参加と自立に努める。また、就労意欲の向上を図り、一人でも多く社会へ送り出すことが出来るようにする。
- (2) 利用者の重度化に対応するため、きめ細やかな援助を行い健康管理にも留意して、本人はもちろん保護者の負担軽減を図る。
- (3) 学園の諸行事を通して利用者の情緒安定と保護者の理解や、協力を高める。また、地域交流を目的とした行事を実施し、地域の方々の理解や連携を深めるように努める。
- (4) 市内の他施設や各機関、企業との交流を深めて、作業能力の向上を図り、就労の促進に努める。

事業体系及び定員・現員

多機能型 定員40名（生活介護24名、就労継続支援B型16名）

現員49名…生活介護33名、就労継続支援B型16名

※令和2年4月1名入園予定

支援内容（作業・生活・健康・食事）

- ・施設内で作業を提供し、作業活動を支援する
- ・施設外就労を行うことで、社会経験を積む
- ・和紙づくり、焼き菓子販売その他の作業を充実させ、利用者の工賃向上に努める
- ・基本的日常生活の習慣や能力の獲得に努める

- ・精神的な安定を図り、日常の生活を落ち着いて過ごせるよう個々に合った療育活動を提供する
- ・利用者の健康状態を的確に把握し、疾病の予防に努める
- ・利用者一人ひとりに合った食事提供を行う
- ・プライバシーに配慮した利用者一人ひとりに応じた身辺介助を行う
- ・当事業所独自のサービス（散髪、入浴、通院付き添い等）を実施し利用者・保護者のニーズに応じていく

利用者の日課

9：00～10：00	施設到着	出迎え、着替え
10：00～11：45	午前の活動	作業活動、療育活動等
12：00～13：00	昼食、昼休み	準備、食事介助、片づけ
13：00～15：20	午後の活動	作業活動、療育活動等
15：20～15：30	帰宅準備	持ち物チェック
15：30	帰宅	見送り

年間行事

4月	入園式
5月	親子交流会
6月	健康診断
7月	音楽会
8月	歯科検診
9月	胸部レントゲン撮影
10月	親子遠足
11月	防災訓練、健康診断、福祉ふれあいフェスタ
12月	クリスマス会、保護者参加年末大掃除、地域防災訓練
1月	成人式
2月	地域交流会

- ・避難訓練、音楽療法、血圧測定は毎月実施
- ・運動療法は土曜開所日に実施
- ・半期ごとに身長・体重測定実施

職員体制

- ・施設長 1名
- ・サービス管理責任者 1名
- ・生活支援員 10名（うち1名 9～15時勤務の非常勤）
- ・職業指導員 1名
- ・目標工賃達成指導員 2名（うち1名 10～16時勤務の非常勤）
- ・事務員 1名
- ・嘱託医 1名
- ・看護師 1名

共同生活援助事業 日本平ホーム

運営方針

生活している利用者が、心休まる生活を送れることを大切にする。日本平ホームでは、利用者が様々な社会経験を行えるようホーム全体で取り組み、意思決定できる環境をつくり、働くことや暮らしへの目標・生きがいの創出に繋がられるよう支援する。

事業内容

- ・入居者自身が意思決定できる環境をつくる（意思決定支援を行う）
- ・美化に努め、快適に安心して生活を送れる環境を提供する
- ・自らハウスキーピングの意識を持ってもらうような支援をする
- ・家庭的な生活空間を重視し、個々のプライバシーを尊重する
- ・入居者と定期的にミーティングし、ニーズ把握に努める
- ・家族との連携を密にし、利用者の状況や課題を共有する
- ・1回／月 職員会議を行い、入居者のニーズに合った支援に努める
- ・地域の社会資源と連携を取り、入居者に必要なサービスを提供する
- ・バランスの取れた食事を提供する
- ・職員の資質向上のため、研修会への参加を促す
- ・地震や火災等に備え、1回／月 避難訓練を行う
- ・災害時に協力し合えるよう、日頃から地域の防災訓練に参加する

職員体制

6 : 30 ~ 15 : 15	世話人 1名
7 : 30 ~ 9 : 30	生活支援員 1名
15 : 00 ~ 19 : 00	世話人 1名
16 : 00 ~ 21 : 00	生活支援員 1名
21 : 00 ~ 翌 7 : 00	宿直職員 1名

設備等

- ・居室 7室 9.94m² (6畳洋室、エアコン)
- ・リビング 1室 28.69m²
- ・トイレ 1階2ヶ所、2階1ヶ所
- ・浴室 1階1ヶ所
- ・洗面所 1階2ヶ所、2階1ヶ所
- ・管理人室 1室 (自動通報装置付き火災報知器設置)
- ・各居室にスプリンクラー設置

月額利用料

- ・家賃 17,000円 (10,000円の補助あり)
- ・食費 朝食280円、夕食450円 (実際に食した回数)
- ・光熱水費 7,000円
- ・日用品費 5,000円

短期入所事業 日本平ホーム短期入所

運営方針 利用者の自立のサポートとその家族の心身の負担軽減のために、個々のニーズに合った柔軟なサービスの提供に努める。利用者の立場になって思いやりを持った支援を行う。

定員 2名

利用時間 15:30～翌9:30

職員体制

15:00～19:00	世話人1名
16:00～21:00	生活支援員1名
21:00～翌7:00	宿直職員1名
6:30～15:15	世話人1名
7:30～9:30	生活支援員1名

居室面積 9.94㎡（6畳洋室）

居室設備 テレビ、エアコン、ベッド、見守りモニター（希望者のみ）

日額利用料

・食費	朝食350円、夕食550円	
・光熱水費	100円	
・日用品費	200円	合計1,200円